

令和四年度第三十三回俳人協会「東北俳句大会・宮城大会」成績

大会賞

徳田 千鶴子選

一条の滝の一念身にとほす

岩手 上野 節子

深々と土打つをしへ父の日来

埼玉 多田 美記

少年の夢語り出す夜の新樹

秋田 伊藤 節子

加古 宗也選

蝌蚪生まる村に帰郷の人増えて

宮城 高宮 義治

花は葉に戦は人を数に換ふ

宮城 佐藤 綾泉

抱卵の海猫一島を統ぶるかな

青森 佐々木雅翔

伊藤 伊那男選

麦笛の切れ切れにしてつづくなり

静岡 唐沢 静男

ハンカチの木の花誰の涙拭く

岩手 菊池 節子

言ひ切るはその香水の力とも

東京 島谷 高水

蓬田 紀枝子選

櫛を提げ妻を待つ能代駅

福島 古市 文子

永き日に選る平積みの新刊本

岩手 大信田宏子

時計屋のあまたの時刻夏来たる

青森 小泉 静子

柏原 眠雨選

櫛を提げ妻を待つ能代駅

福島 古市 文子

囀りの大樹をのこし廃校す

宮城 丸山千代子

象の背の高きに揺れて春惜しむ

宮城 寒河江桑弓

木村秋湖特選

黒頭巾羽後の歴史を踊り継ぐ

栃木 黒澤 信子

玫瑰や姥捨浜と伝へ聞き

岩手 安達 広子

植田まだ濁り残して暮れにけり

宮城 佐藤 綾泉

小野 寿子特選

鉢巻のをんな操る耕運機

岩手 円子 涼子

海鞘裂いて報復めきし汁が目に

青森 佐藤 幸子

さざなみの伊達の代田の大いなり

宮城 二本柳力彌

草野 力丸特選

樹木医の眼差しやさしみどりの日

抱卵の海猫一島を統ぶるかな

ものの芽や子牛の鼻紋よく濡るる

白濱 一羊特選

明日から使はぬ定期鳥雲に

水着きて妻は妻から脱皮する

ゴールインしてより汗のとめどなし

澤口 航悠特選

遠足子馬にも牛にも触れて来し

千人風呂たちまち雪に見失ふ

島々の風を乗り継ぎ初燕

及川 茂登子特選

鷹山の教へ戴く五加木飯

三世代すずめ踊りの扇子かな

一軒となりし魚屋軒菖蒲

山崎 雅葉特選

靖国の父兄へ杖の桜狩

辛夷咲く遠野を繭で包むごと

白神の風切る羽音鷹柱

岩谷 塵外特選

野馬追や頬に食ひ込む兜の緒

夕焼やまだ住めぬ町住まぬ町

手話の子の笑顔も会話カーネーション

佐藤 景心特選

夜桜へ静かに權を入れにけり

仏岩に波立ちあがる涅槃西風

弓絞る万緑の的引きよせて

鈴木 正子特選

標を提げ妻を待つ能代駅

捨て切れぬ太宰の里に雪と老い

夕焼やまだ住めぬ町住まぬ町

黒坂 重政特選

村一つ消えて螢の沢となる

恋猫の帰りを待つてゐる平和

田水張るお岩木山を真帆として

青森 小田桐由紀子

青森 佐々木雅翔

青森 野村 英利

宮城 兵頭 康行

青森 渡辺みなみ

山形 小島 緑泉

青森 小野 寿子

青森 沼館斐佐子

山形 横道 啓一

山形 栗原ただし

宮城 田村 恵子

宮城 門間としゑ

秋田 岡部いさむ

岩手 小山 尚宏

青森 くどうひろこ

宮城 岡本 幸治

岩手 吉田 茂樹

山形 渡辺 幸則

青森 佐藤 霜魚

青森 長倉 みつ

宮城 菊地ゆき子

福島 古市 文子

青森 成田 政美

岩手 吉田 茂樹

青森 笹原 郁子

宮城 伊藤 一男

青森 鈴木志美恵

伊藤 寛特選

篠笛の音に千年の蓮ひらく
背守りの矢をぬひつけて夏はじめ
戦況のラジオを低く路を剥く

橋本 研二特選

終戦日ソ連嫌ひのままに老ゆ
紙魚走るサイパン島の兄の遺書
夕焼やまだ住めぬ町住まぬ町

横山 節哉特選

紙魚走るサイパン島の兄の遺書
植田まだ濁り残して暮れにけり
若草に脚折り畳む当歳馬

古市 文子特選

葉桜や空へ抜けゆく応援歌
弓絞る万緑の的引きよせて
全身を目にして追ひぬ大花火

坂内 佳禰特選

白神の風切る羽音鷹柱
蝦夷の血何処か疼かせやませ来る
抱卵の海猫一島を統ぶるかな

小林 里子特選

青空やたんぽぽと詩を生む
せせらぎも青き踏む子も野のひかり
愚かなるいくさふたたび晶子の忌

宮城 今野紀美子

宮城 高平 悦子

岩手 佐藤 嘉子

岩手 佐々木一夫

福島 佐久間秀男

岩手 吉田 茂樹

福島 佐久間秀男

宮城 佐藤 綾泉

青森 小笠原聖子

福島 橋本 研二

宮城 菊地ゆき子

山形 竹田 秀

青森 くどうひろこ

北海道 齊藤まさし

青森 佐々木雅翔

宮城 酒井美代子

秋田 木村 登龍

岩手 阿部野の女